

2019年度 発達支援論コース・学び系C 卒業論文・修士論文発表会

日時：2020年2月22日（土）9：30～17：30

会場：鶴甲第2キャンパス A棟2階 大会議室

主催：発達支援論コース

（学部3回生及びM1 準備のために開始30分前に集合）

★学部生（発表10分、質疑応答5分 計15分）

9:30～9:45 「コミュニティ内の繋がりを強める要因についての研究～AKB48グループとファンによるコミュニティに注目して～」

9:45～10:00 「インクルーシブな場がもつ力についての研究～ボランティアの語りに着目して～」

10:00～10:15 「現代社会における大学祭の意義についての考察」

10:15～10:30 「支援活動の生起と継続における感動の関与についての研究」

10:30～10:45 「コンビニオーナーの実態を踏まえての大学生の『働き方』に関する考察」

10:45～11:00 「青年期における人前で泣くことの実態と関連要因の考察～4名の語りを通して～」

11:00～11:15 「ボランティアによる学童保育職員・保護者の生きづらさの緩和」

11:15～11:30 休憩

★修士院生（発表15分、質疑応答5分 計20分）

11:30～11:50 「多文化共生を阻害する要因に関する研究～在日中国人の交流意識に関する調査から～」

11:50～12:10 「ポスト近代社会における市民による居場所づくり実践の意義～支援役割を担う人々のライフストーリーからの考察～」

12:10～12:30 「哲学カフェにおける間主観性に関する研究—対話に出てくる「私」の意味についての考察」

12:30～13:30 お昼休み

13:30～13:50 「妊娠を契機とした女性の生きられた経験—20代前半で妊娠・出産を経験した女性とのダイアログから—」

13:50～14:10 「地域の組織的な獣害対策に高校生が果たす役割に関する研究—兵庫県立篠山東雲高校における放任柿の堆肥化を事例として—」

14:10～14:30 「中国人女子留学生の就職意識お呼びその影響要因に関する研究—神戸大学大学院における調査から—」

14:30～14:50 「学校を参加の契機とした地域活動における拘束性と独自性に関する考察」

14:50～15:10 「福祉教育・ボランティア学習実践における〈当事者性の邂逅〉の意義」

15:10～15:20 休憩

★修士院生（1年履修コース）（発表15分、質疑応答5分 計20分）

15:20～15:40 「放課後等デイサービスの障害のある子どもの学校卒業後を見据えた取り組みに関する考察」

15:40～16:00 「市民の公共性涵養に寄与する NPO 中間支援組織の今後の役割と課題～エンパワメント型支援についての考察～」

16:00～16:20 「特別支援学校における『主体的・対話的で深い学び』の意味を問う」

16:20～16:40 「コミュニティセンターにおける学習主体の集団形成とその支援に関する実証的研究～英語学習の展開過程に注目して～」

16:40～17:00 「社会構造の変化に伴う社会福祉の現場の変遷と課題」

17:00～17:15 講評タイム

17:15～17:30 後片付けなど